## 平成23年度(3ヶ月運用) (平成23年11月~平成24年1月)

## 環境活動レポート



平成24年 2月10日

マタケ造景株式会社

## 環 境 方 針

マタケ造景株式会社は、環境整備(景観作り)の活動を通じて、 地球環境との調和・共生目指し、環境への取組を最重要課題として、 全社一丸となって法令遵守のもと環境への取組を推進して環境負荷を継続的に削減する。

- 1. 事業活動に伴う環境への負荷を削減するために、以下の環境へ取組を行う。
  - (1) 車両、重機、機械類のエコ運転に努めて燃料を削減して二酸化炭素排出量を削減する。
  - (2) 事業所の電気の省エネルギーを推進して二酸化炭素排出量を削減する。
  - (3) 事業所及び、資材置き場には、数多くの植栽を行い二酸化炭素排出量の削減を行う。
  - (4) 井戸水の利用や節水により水使用量を削減する。
  - (5) 建設廃棄物の発生抑制・削減・リサイクルを推進して、産業廃棄物の 最終処分量を削減する。
  - (6) 事務用品のグリーン購入を推進する。又建設資材の可能な限り再生品を使用する。
  - (7) 化学物質の使用量削減に努める。
- 2. 当社の事業活動において関連する環境関連法規等を遵守する。
- 3. 環境に配慮した施工を心掛け、地球に優しい緑化型構築物を提案する。
- 4. 事業所、現場周辺において、清掃美化活動や草花のプランター設置など地域緑化環境活動を積極的に行い、地域の環境保全に貢献する。
- 5. 森林保全を目的としたエコアップ活動の企画運営を行い、地域との環境コミュニケーションを推進する。

平成23年10月20日

## マタケ造景株式会社

代表取締役 真武 弘延

### 1. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

マタケ造景株式会社 代表取締役社長 真武 弘延

(2) 所 在 地

本 社 福岡県福岡市東区香椎駅東4丁目47-1-301号

TEL: 092-661-6614 FAX: 092-673-1382

資材置場 福岡県福岡市東区下原2丁目地内

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責 任 者 統括部長 酒井 竜二 TEL: 080-1785-4209

E-mail: sakai.zoukei@dune.ocn.ne.jp

担 当 者 営業部 青谷 憲一 TEL: 080-2745-7778

E-mail: m\_zoukei@cosmos.ocn.ne.jp

(4) 事業内容

建設業:造園工事業他

(5) 事業の規模

売上げ額 平成22年度 260,000(単位:千円)

	本 社	資材置場
従業員	14名	無人
延べ床面積	60m²	1,343m²

(6) 事業年度 7月1日~翌6月30日

(7) 法人設立年月日 平成2年 7月

(8) 資本金 400万円

## 2. 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: マタケ造景株式会社

活動: 建設業:造園工事業、石工事業、舗装工事業、塗装工事業

水道施設工事業、土木工事業、しゅんせつ工事業

とび・土工工事業、鋼構造物工事業

有資格者数: 1級造園施工管理技士・技能士 3名

2級造園施工管理技士 4名

1級土木施工管理技士 1名

2級土木施工管理技士 4名

## 3. 環境目標とその実積

## 3. 1 事業所

	環境目標	目実	標積	単位	基準値	試行運用期間 H23.11~H24.1	平成23年度	平成24年度	平成26年度
		目	標	kg-CO <sub>2</sub>	_	1755	7020	6948	6805
1	  二酸化炭素排出量の削減			(基準値比)		(-2.0%)	(-2.0%)	(-3.0%)	(-5.0%)
1	一段几次示까山重少的吸	実	積	kg-CO <sub>2</sub>	7163	1552	_	_	_
			123	(目標値比)	.100	(-11.6%)			
		目	標	t		0. 316	1. 274	1.261	1. 235
9	一般肉套烟墨の削減	П	/示	(基準値比)		(-2.0%)	(-2.0%)	(-3.0%)	(-5.0%)
2	NX/先来初重♥ン H11/M	宇	葀	t	1 2	0. 105		_	_
		X	但	(目標値比)	1. 0	(-66.8%)			
			趰	$\mathrm{m}^3$		13. 97	55.86	55. 29	54. 15
3	3 総排水長の削減(節水)		125	(基準値比)		(-2.0%)	(-2.0%)	(-3.0%)	(-5.0%)
	NEW DEAD CHANGE	宇	葀	$\mathrm{m}^3$	57	6		_	_
		*	但	(目標値比)	51	(-57.1%)			
		目	煙	0/0					
4	グリーン購入	П	1215		平成23年周	まけ 実施状況を	~押据1. 次年	E度以降に日ホ	<b>画を設定する</b>
1	/ / × xpp/\	実	積	%	1 PA20 TB			1 120 PHIC 111	ホ <b>セ</b>    <b>X</b>
3	一般廃棄物量の削減総排水量の削減(節水)	実 目 実 目	看 標 標 標	t (目標値比) m <sup>3</sup> (基準値比) m <sup>3</sup> (目標値比)	1.3 — 57 平成23年月	0. 105 (-66. 8%) 13. 97 (-2. 0%)	55. 86 (-2. 0%)	55. 29 (-3. 0%)	

## <備考>

- ・平成23年度試行運用期間の数値目標は、平成22年度実績値の3ヶ月分を推定し、 これに削減率を乗じ設定しました。
- ・二酸化炭素排出量は、平成21年度九州電力の実排出係数0.369kg-C02/kWhで計算している。

## 3. 2 工事現場

	環境目標	目実	標積	単位	基準値	試行運用期間 H23.11~H24.1	平成23年度	平成24年度	平成26年度
1	二酸化炭素排出量の削減	目	標	C02発生量/ 受注額 (百万円)	_	233. 20	233. 20	230. 85	226. 14
1	— 政化 <u>从</u> 条护山里 <sup>以</sup> 即枫	実	積	C02発生量/ 受注額 (百万円)	235. 56	633. 91	_		_
2	産業廃棄物のリサイクル	皿	標	%		84	84	84	85
2	率84%の維持・向上	実	積	%	84	97. 3	_	-	_
3	農薬の適正管理	皿	標			こよって、使用量	・ 量が大きく変動	動するため、貧	数値目標は立
	反来の旭山自生	実	積		てずに適コ	Eに管理する			
4	節水	皿	標	_		こよって、使用量		動するため、乳	数値目標は立
4		実	積	_	てずに取り	)組みは実施する			

## <備考>

- ・平成23年度試行運用期間の数値目標は、平成22年度実績値の3ヶ月分を推定し、 これに削減率を乗じ設定しました。
- ・二酸化炭素排出量は、平成21年度九州電力の実排出係数0.369kg-C02/kWhで計算している。

## 4. 環境活動計画

## 1. 二酸化炭素排出量の削減

	車 口於山	取組目標			活動項目	スケジュール	
	<b>水</b> 胚	責任者			担当者	7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月	員9 自
			1	社内で節電シールを貼る		<b>→</b>	<b>^</b>
		÷ -	2	エアコン設定温度を決め、実行する		1	
П	電気使用量の削減	東軍軍士	3	エアコンフィルターの清掃	青谷	<b>↑</b>	
		Ì	4	昼休みの消灯運動	. •		1
			2	退出時の0A機器の主電源0FF	. •		1
			1	エコドライブ推進	_•		1
2	ガソリン使用量の削減	真河井	2	タイヤの空気圧を適正値に保つようにする	田職		1
		Ì	3	ハイブリッドカーの導入の検討		<b>1</b>	
			1	トラックのエコドライブ推進			1
3	軽油使用量の削減	酒井	2	重機運転における省エネ	日勝		1
			3	タイヤの空気圧を適正値に保つようにする	Ţ		

# 2. 廃棄物排出量 (一般廃棄物)の削減

田 別 田 田 種	取組目標		1 日 担 博	ηí					スケミ	スケジュール			•		
ANTE H TAS	責任者		וואַ.אַרו	担当者	7月 8	8月 9	9月 10	10月 11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
		٠	ナーローナ												1
		_	1   江磯貞科・事務于舵書類の間米化を来1190	<u> </u>	_										`
		(	小子 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)		•										1
回燃バや、下燃バみ、織の	× H	77	2   使用済み用紙の妻紙利用の徹底	‡ 類	}										<u> </u>
排出量の把握	Į II	c	计日达 计对应压值 田代鄉	###											1
		9	使用資金割回の中利用の徴味	<u> </u>	_										`
		,	社 安 )												1
		4	4   分別の	<u>/</u>	_										<u> </u>

# 3. 産業廃棄物のリサイクル率の向上

括動項目     スケジュール       相当者     7月     8月     9月     10月     11月     12月     1月     2月     4月     5月     6月       格での発注。     本     本     本     本     本     本     本     本     本     本       管理を確実に 山脇     山脇     本     本     本     本     本     本     本	
活動項目	
活動項目	
活動項目 担当者 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本	
活動項目 担当者 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 本	
活動項目	
活動項目	-
括動項目	
活動項目 担当者 7月 8月 9月 本 酒井 山脇	_
括動項目   担当者   7月 8月     本	
括動項目 担当者 不 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	
	$\downarrow$
の発注。を確実に	
関ってる	産業廃棄物の適正処理を確認する
	3
取組目標 責任者 責任者 青谷	
取組目標 リサイクル率の向上を目指 す	

## 4.環境活動計画

## 4. 事務所の水使用量の10%削減

野 日 15年	取組目標	日見慢大	活動項目					スケシ	スケジュール					
<u> </u>	責任者	17到"吳日	担当者	7月	8月	9月 10	10月 11月	引 12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
""""""""""""""""""""""""""""""""""""""	平	1 節水シールの貼り付け	千男	•	1		<b>↓</b>	<b>1</b>		<b>1</b>			1	
1 対プンプロデ		大生 ( )												1
		2 前水沽動の推進	<u>/</u>	,										

## 5. グリーン購入

	6月	1	•	1	•	
		Ц				
	5月					
	4月					
	3月					
	2月					
ケジュール	1月					
スケジ	12月					
	11月					
	10月					
	9月					
	8月					
	1月	-	•		•	
活動項目	担当者		真武	(回)	Ì	
日史事式	日 岁 (居 日)	10 块的件状的 10 工工人	・一くクンプンの祖人の核一石	44	4 仕入時のプサイクル製品の有票の確認	
態	<b>-1</b> -	_	_		7	
取組目標	責任者		事	Ė		
野日15年	从水丘 闩 1示		1 グニーン購入	くまくへく「		

## 6. 農薬の適正管理

		4						
	6月	1	•	1	`	1	•	
	5月							
	4月							
	3月							
	2月							
イード	1月							
スケジ	12月							
	11月							
	10月							
	9月							
	8月							
	7月	•	,	1	,	•	,	
活動項目	担当者			‡ !!	福井			
八年四日		4	米官場JU07  脚距	4. 子子 四月七八十六 1. 一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	週上な代用車備部の徹底	好由額(牙よ	目 生神 Vノ1 ドル	
L			1 2 8					
取組目標	責任者			41.1.	重王			
取組目標 東紀名		<ul><li>管理</li><li>山脇</li><li>2</li><li>3</li></ul>						

## 7. 事業活動に伴う目標

	田 号 田 琴田	取組目標		<b>汗</b> 虧佰日	活動項目					X	くケジュ	1/-1					
	4人作品 日 1示	責任者		1日男/	担当者	1月	8月	9月	10月 1	1月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
-	<b>本</b> 书 企 相 <b>分</b>	11	-		‡ 第												1
_	個枚の旅来	平	_	月1回の循布活動、エコノツノ活動	電井	,											\

## 5. 環境活動計画及びその取組結果と評価並びに次年度の取組内容

## (1) 二酸化炭素排出量の削減

取組対象	達成 状況	取組計画	実施 状況	評価 (今後の取組方向も含む)
電気使用量の削減 (2.5%削減) 事務所 電気使用量の削減 (2.5%削減)	0	・節電シール ・エアコンの設定温度を決定 ・エアコンフィルターの清掃 ・昼休みの消灯運動 ・退出時の OA 機器の主電 源 OFF	\( \text{O} \) \( \text{O} \) \( \text{O} \) \( \text{O} \)	事務所・現場とも目標値を 達成できたので、今後も引 き続き取り組んでいきた い。
現場 がソリン使用量削減 (2.5%削減) 事務所	0	<ul><li>・エコト゛ライフ゛の推進</li><li>・タイヤの空気圧を適正値に</li><li>保つようにする。</li><li>・ハイフ゛リット゛カーの導入の検討</li></ul>	Δ Δ Ο	全体的に実行されていた。 その中でもハイブリッドの導入 が実行できた。 今後はエコドライブの推進を重 点的に取組み、ガソリン使用量 の削減に努めていきたい。
カ`ソリン使用量削減 (2.5%削減) 現場	0	<ul><li>・エコト、ライブ、の推進</li><li>・タイヤの空気圧を適正値に</li><li>保つようにする。</li></ul>	△ △	全体的に実行された。 今後は、エコドライブの推進を 重点的に取組み、ガソリン・軽
軽油使用量削減 (2.5%削減) 現場	×	<ul><li>・トラックのエコドライブの推進</li><li>・タイヤの空気圧を適正値に</li><li>保つようにする。</li><li>・重機運転における省エネ</li></ul>	△ △	油使用量の削減に努めていきたい。

## (2) 廃棄物排出量(一般廃棄物)の削減(事務所のみ)

取組対象	達成	取組計画	実施	評価
4人们1人1多人	状況	4次/011日1日	状況	(今後の取組方向も含む)
		・会議資料・事務手続書	0	全体的に実施されたので、
		類の簡素化を実行する		今後も引き続き取り組んで
可燃ごみ数量	$\circ$	<ul><li>使用済み用紙の裏紙利</li></ul>	$\circ$	いく。
不燃ごみ数量	$\circ$	用の徹底		
紙ごみ数量	$\circ$	<ul><li>使用済み封筒の再利用</li></ul>	$\circ$	
		の徹底		
		・分別の徹底	0	

## (3) 産業廃棄物のリサイクル率の向上

取組対象	達成	取組計画	実施	評価
	状況		状況	(今後の取組方向も含む)
		・現場代理人は産業廃棄	$\circ$	全体的に実施されたので、
リサイクル率	$\circ$	物管理票の管理を確実に		今後も引き続き取り組んで
リサイクル量	_	行い、責任者に報告する		いく。
埋め立て量	_	<ul><li>・産業廃棄物の適正処理</li></ul>	$\circ$	
		を確認する		

## (4) 事務所の水使用量の10%削減

历如社会	達成	版如計画	実施	評価
取組対象	状況	取組計画	状況	(今後の取組方向も含む)
水使用量の削減		・節水シールの貼り付け	$\triangle$	全体的に実施されたので、
(2.5%)		・節水活動の推進	$\triangle$	引き続き活動していく。

<sup>※</sup>水使用量の取組みに関しては半期で行います。

## (5) グリーン購入

取組対象	達成 状況	取組計画	実施 状況	評価 (今後の取組方向も含む)
現状把握		・アスクルへの注文の統一化	0	グリーン購入の意識を強く持
	_	・注文時のリサイクル製品の有	$\bigcirc$	ち、今後更に割合を増やし
		無の確認		ていきたい。

### (6) 化学物質の削減

取組対象	達成	版如料面	実施	評価
以胜刈家	状況	取組計画	状況	(今後の取組方向も含む)
農薬の適正管理	_	・工事現場によって、使	0	適正に管理できているの
		用量が大きく変動するた		で、引き続き適正に管理し
		め、数値目標は立てずに		ていく。
		適正に管理する。		

## (7) 社会貢献活動への参加数

版组社在	達成	取組計画	実施	評価
取組対象	状況	以胜計画	状況	(今後の取組方向も含む)
		・月 1 回の清掃活動の実		月の最終土曜日に実施する
清掃活動・エコアップ。		施	$\circ$	よう決めて、実行できてい
活動				るので、今後とも継続して
				活動していきたい。

### 6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動において、法的義務を受ける主な環境関連法規は次のとおりである。

適用される法律規制等	適用される事項(施設・物質・活動等)		
廃棄物処理法	事業系一般廃棄物、産業廃棄物(廃プラ、木くず、鉄くず)		
騒音規制法	バックホウ		
振動規制法	バックホウ		

平成24年2月に上記の環境関連法規の試行運用期間(平成23年11月~平成24年1月)における遵 守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。 また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

## 7. 代表者による全体評価と見直しの結果

全体としては、環境方針に基づき、仕組み作りが少しづつ出来ている。 地域の清掃活動やグリーン購入、プランターの設置、エコアップ活動の計画等はすぐ実行できず価できるので今後とも取り組んでいきます。

二酸化炭素排出量の削減については、IJドライブの研修会を行うなど、もう少し積極的に取り組んでいきたい。

事業所においては分かりやすい標示板等を設置し、仕組み作りが出来ているが、現場では徹底をもう少し進めたい。

目標値に関しては、明確性が細部まで全員に周知できていないので、もう少し説明が必要である。

役割分担に関しては、全員で取り組んでいるのは評価できる。